

第5部 前年度環境審議会意見の反映状況 (市の取り組み)

■環境審議会意見の反映

前年度の環境報告書で示された環境審議会の意見を、市がどのように施策に反映させたかを整理しています。

目標像 01 「里山」

■有害獣対策について、広域連携の強化を図ることについて

【農林水産課】

生息状況の変化により、銃猟による捕獲が困難になってきており、市域をまたぐ合同捕獲の効果が得にくくなってきています。

今後、市町境での捕獲は、県主導の「指定管理鳥獣捕獲等事業」で県認定事業者が実施することとなります。

■「ノアの方舟作戦」の更なる取り組みについて

【コウノトリ共生課】

獣害防護柵設置により植生を保全する「ノアの方舟作戦」は市内6カ所で実施しており、いずれの箇所においても防護柵内で顕著な食害は見られず、植生保全に効果があると確認しています。平成29年度に関しては、有識者によるエリア巡回及び防護柵内の希少植物の生育状況を検証することで、より効果的な保全の実施を図るとともに、防護柵の増設を2カ所行う予定です。

■ペレットストーブや、薪ストーブの、農業用あるいは、普及の進んでいない施設への周知、働きかけについて

【エコバレー推進課】

住宅用及び事業所用ペレットストーブ購入補助制度の活用を促すため、市広報やホームページを活用し、引き続き普及に努めます。なお、市が管理する施設への設置は完了しているため、新たな設置は考えていません。

目標像 02 「田んぼ」

■「豊岡型環境創造型農業」を、慣行農法農業者への働きかけについて

【農林水産課】

平成28年度の豊岡型環境創造型農業による水稻作付面積は約1,023ヘクタールで、市内全面積の36.8%にまで拡大しました。平成33年度の過半数達成を目指し、関係機関と連携して豊岡型環境創造型農業への取り組みをさらに進めます。

■放棄田を活用したビオトープづくりへの支援メニューの積極的な周知について

【コウノトリ共生課】

水田ビオトープはコウノトリのエサ場になるとともに、子どもたちの環境学習の場にもなります。ビオトープを作ったり自然環境を考える活動を促すために、「小さな自然再生活動支援助成事業」による支援を実施しています。平成28年度は10団体がこの助成事業を活用し、内、2団体が休耕田をビオトープ化しました。市広報や市HPで助成事業を積極的に周知し、水田ビオトープの増設を推進します。

目標像 03 「川」

■不法投棄などへの監視活動などの継続について

【生活環境課】

円山川を美しくする協議会や豊岡市環境衛生推進協議会が主催するパトロールに市も参加し、円山川流域の不法投棄状況を把握するとともに、ごみの不法投棄防止を啓発しました。

また、各地区がクリーン作戦等ボランティア清掃に伴い、河川に不法投棄された物を引き上げられた場合には、生活環境課で収集を行いました。

さらに、河川へ流れ込むことを防止するため、クリーン作戦実施の際の注意事項として、河川の法面の刈り草を放置しないよう区長あて文書にて依頼しました。

目標像 04 「海辺」

■ウォーキングイベントなどの際にウォーキングだけでなく、一緒にごみを拾って歩くなどを市民へ意識づけすることについて

【健康増進課】

歩いて暮らすまちづくりの中では、積極的に行っていません。

スポーツ振興課と連携して行っている「チャレンジデー」では、近年スポーツごみ拾いイベントが採り入れられていません。

【生活環境課】

清掃等ボランティア活動も拡がっており、その活動で集積されたごみを生活環境課で回収しました。

目標像 05 「祭り・行事」

■伝統行事の現状の把握について

【教育総務課】

市内各地域の祭礼・年中行事を平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間継続調査し「豊岡市の祭礼・年中行事等調査報告書」にまとめました。

調査結果の活用については、歴史文化基本構想の中で、「地域らしさ」の特性として反映しており、現在、実施団体や地域に報告し、地域づくり・後継者育成に役立てていただくようにすすめているところです。

目標像 06 「コウノトリ」

■「豊岡市生物多様性地域戦略」の更なる推進について

【コウノトリ共生課】

平成 29 年度で「豊岡市生物多様性地域戦略」策定から 5 年が経過することから、短期戦略の見直しを行います。また、科学的根拠に基づいた自然再生の実践方法や支援策を構築し、市民自らが自然再生活動に取り組むための「自然再生アクションプラン」の策定を行い、地域・市民・関係機関等の力を活かした生物多様性保全を目指します。

目標像 07 「ごみ」

■ごみ減量を市民に意識づけるため、地道な啓発活動について

【生活環境課】

豊岡市環境衛生推進協議、豊岡くらしの会と共催でマイバッグ持参運動を実施した。レジ袋を削減してごみ減量の推進を図るとともに、資源を大切に使う意識を高めるために、買い物の際は買い物袋を持参することを市民に呼びかけました。

■リサイクルの啓発やリサイクル活動拠点の周知について

【生活環境課】

リサイクルを啓発するため、資源ごみ集団回収事業補助金について広報に掲載し、活用促進を図った。平成 28 年度は延べ 655 団体が集団回収を実施されました。

また、電気式生ごみ処理機の購入費補助について活用促進を図るために、平成 26、27 年度に補助を受けられた方を対象にアンケートを実施しました。生ごみのたい肥化に取り組まれ、ゴミの減量につながっている実績が把握できました。

目標像 08 「道草」

■子どもたちと地域の大人たちとの交流の取り組みの拡充について

【コミュニティ政策課】

地区運動会、三世代交流グラウンドゴルフ大会、三世代交流そば打ち大会など、多くの地区公民館で子どもたちと地域の大人たちとの交流事業を実施しています。

【生涯学習課】

従来から、青少年を非行から守り健全な育成を図るため、学校及び関係諸団体と連携を図りながら様々な活動に取り組んでおります。具体的には「あいさつ運動」の普及啓発、「夏休みラジオ体操顔見知り運動」の推進、啓発などを継続して実施しています。

全市をあげて、地域・家庭・学校・行政がさらに緊密な連携・協力・情報交換に取り組み、地域の中で子どもたちがより積極的に地域の大人たちとの関わりをもつよう取り組みを継続しています。

【こども教育課】

オープンスクールを実施し、引き続き地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、児童生徒の地域行事への参加を呼びかけていきます。

目標像 09 「豊岡ブランド」

■「コウノトリ育むお米」について、一層の販促・PRについて

【農林水産課】

コウノトリ育むお米の販売促進・PR については、歌舞伎俳優の片岡愛之助さんをイメージキャラクターに登用し、県・市・JA たじまが一体となって進めています。また海外での販売促進についても、市場調査を進めながら、求められる商品や数量、価格帯を把握し、一層の販売促進・PR を進めます。

■豊岡産のお米や野菜が学校給食で使用されていることについて、もっと内外に周知することについて

【教育総務課】

学校給食では、平成 28 年度からコウノトリ育む農法栽培米(減農薬栽培米)の使用を週 5 回とし、ホームページや献立表に掲載して周知を行っています。

目標像 10 「省エネ」

■市街地循環バスなどをもっと PR することについて

【都市整備課】

市街地循環バス「コバス」を広く市民のみなさんに知っていただくため、市発行媒体での PR 記事掲載や、市内イベントでの周知に努めています。

より市民のみなさんに知っていただくため、機会を捉えた周知に努めます。

■「雪室」の実証実験など新しい自然エネルギーへの取り組みを、もっと市民へも周知すべきでは

【エコバレー推進課】

中筋小学校、清滝小学校の児童を対象に、雪室の取り組みを周知するイベントを実施しました。記者配布を行い、新聞、テレビ等のメディアに取り上げられました。

ライフスタイルデザインプロジェクトの一環として、市のホームページ、フェイスブック、コミュニティだより等で情報発信しました。

今後とも、給食だより等を通じて、各小学校に周知していきます。

雪室の保存品目を増やし、雪室ブランドとして広く販売することで、商品を通じて市民に周知

していきます。

■身近な省エネ行動を、市民や事業所に対して引き続き周知徹底を図るような、具体的な取組みについて

【エコバレー推進課】

太陽光発電システム設置補助金、木質バイオマス補助金を通じて、省エネ行動を促しています。

健康・環境ポイント手帳の登録を推進し、省エネ行動への取組みを促しています。

市広報やホームページにより、節電やクールスポットを紹介する等、省エネ行動を促しています。

平成 29 年度から新たに取り組むエコ事業所宣言により、事業者に対し広く省エネを周知していきます。

健康・環境ポイントの見直しを行い、さらに市民に取組みやすい事業を提供し、省エネ行動を促していきます。

【教育総務課】

学校でできる省エネ活動の一覧表やステッカーなどの配布をして、学校が省エネ活動に取り組みやすいようにしています。

